番号	5 ― 33	申　請　者	薬剤師 松本 淳

【審査申請課題】

ラジカット点滴静注からラジカット内用懸濁液切り替えによる有害事象の発現状況及び関連調査

【審査課題の概要】

熊本再春医療センター（以下、当院）では神経難病の1つである筋萎縮性側索硬化症(以下、ALS)の治療が多く行われている。ALSの症状進行抑制を目的としてラジカット点滴が行われていたが、2023年4月17日に通院・入院等の患者負担軽減を目的としてラジカット内用懸濁液が販売開始となった。当院でもラジカットの注射剤から内用懸濁液への変更が行われている。今回、内用懸濁液変更後の消化器症状をはじめその他副作用発現や、肝・腎機能をはじめその他血液検査値について電子カルテを用いて後方視的に調査を行う。

審査結果	承認　（　令和6年2月13日　）